2022年度　岐阜県博物館協会 全体研修会　概要

１．日　時

　　　2022年5月27日（金）　14：00～15：20　（講演60分＋質疑等20分）

２．会　場

　　　岐阜県博物館　けんぱくホール

 （岐阜県関市小屋名1989）

３．講師

　　　文化庁 博物館支援調査官　中尾智行氏

４．テーマ

　　「博物館資源のデジタル化とオープン化について」

《趣旨》

　様々な資料の収集と保存管理は博物館としての基本的機能であり、それがベースとなって研究活動、展覧会や教育普及活動に展開していきます。さらにその資料は博物館の外にある多様な地域資源とともに地域の特性をかたちづくり、有形無形の資源として、いわゆるまちづくり形成のために生かされていくものでもあります。おりしも今回の博物館法改正に際して、「博物館資料のデジタル・アーカイブ化」が博物館事業として新たに明示されました。しかしながら博物館現場では収集資料の適切な整理や公開が順調に進んでいるとは言えず日々模索を続けています。

　博物館の社会的存在価値を見据え、博物館が持つ多様な資源をどのようにデータベース化し、広く公開して地域社会共有の資源や財産として位置付けていくか、そのあり方や方向性、手立てを考えていくための場としたいと思います。

５．定　員

　　　３０名

６．申し込み

　　　岐阜県博物館協会事務局　　　松島史弥　gpma@mopera.net

　　　岐阜県博物館協会企画委員会　可児光生　mitsuo.kani@city.minokamo.lg.jp

　　　（事前に上記までお申込みください[氏名と所属]。）

　　【全体日程】（総会に引き続いて全体研修会）

 12：50～13：05　　　受付

 13：05～14：00　　　総会

 14：00～15：20　　　全体研修会　（文化庁中尾氏・講演60分＋質疑20分）

 15：20～15：30　　　休憩

 15：30～16：00　　　情報提供

　　　　　　　　　　　 　①ミュージアムレスキュー資材について（もの部会）

　　　　　　　　　　　　 　②写真資料のデータについて（ひと部会）

　　　　　　　　　　　　 　③ホームページのリニューアルについて（こと部会＋事務局）